

東部大阪都市計画ごみ焼却場
四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る
事後調査報告書

(平成27年6月分水質・地下水調査結果報告書)

平成27年9月

四條畷市交野市清掃施設組合

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地
 事業者の名称 四條畷市交野市清掃施設組合
 代表者の氏名 管理者 四條畷市長 土井 一憲
 主たる事務所の所在地 大阪府四條畷市大字清滝 1 0 5 1 番地
2. 対象事業の名称
 東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業
3. 事業計画地の位置
 大阪府交野市大字私市 3 0 2 9 番地外
4. 対象事業の実施状況
 対象事業の実施状況及び今後の予定を表 1 に示す。

表 1 対象事業の実施状況及び今後の予定

工事内容		月		5月	6月	7月	8月
造 成 工 事	準備工	伐採・除根					
		測量					
	造成工	切盛覆土工					
	擁壁工	地盤改良工					
		築造工	→				
	進入路 工	路床工	→				
舗装工		→					
排水工	第1沈砂池工						
	排水施設工注	→					
道路 拡幅工	擁壁工						
	拡幅工						
建 設 工 事	準備工	測量・調査		→			
		共通仮設工				→	→
	土木 工事	熱回収施設棟					→
		リサイクル施設棟					→
		管理棟・計量棟					→
		付属棟（守衛棟等）					→
	建築 工事	煙突					→
		熱回収施設棟					
		リサイクル施設棟					
		管理棟・計量棟					
プラント 工事	熱回収施設						
	リサイクル施設						
外構工事							
濁水処理工	施設改良工					→	
	運転工				→	→	

注：第2沈砂池工及び調整池工を含む。

5. 事後調査の内容

調査項目、調査地点を表2に示す。また、調査地点の位置を図1に示す。

表2 調査項目、調査地点

調査項目		調査地点	調査期間及び頻度	調査方法	調査実施日
水質	pH、濁度	調整池出口	時期：工事期間 頻度：常時監視 (2回/日)	公共用水域及び地下水の水質測定計画に示された方法等	表3のとおり
	SS、ダイオキシン類	排水口 (敷地内排水最終柵)	時期：工事期間 頻度：6回/年		平成27年 6月22日
	健康項目(ベンゼン・砒素・鉛・ふっ素・ほう素)、濁度、電気伝導率	河川 (天野川下流)	時期：工事期間 頻度：粗造成工事時並びに熱回収施設及びリサイクル施設の掘削工事時(1~24ヶ月目予定) 1回/月 その他の時期 6回/年		
地下水	健康項目(ベンゼン・砒素・鉛・ふっ素・ほう素)、ダイオキシン類	観測井2地点 周辺井戸1地点	時期：工事期間 頻度：4回/年	平成27年 6月23日	
騒音 振動 低周波音	建設作業騒音 建設作業振動	敷地境界(民家側2地点)	時期：工事の最盛期 頻度：平日1回 (時間帯：8~17時)	騒音：JIS Z8731 振動：JIS Z8735	—
	発破工事時の騒音レベル・振動レベル・低周波音の音圧レベル	周辺住居(4地点)	時期：発破工事期間の実施開始時 頻度：平日1日2回 (時間帯：8~17時)	騒音：JIS Z8731 振動：JIS Z8735 低周波音：「低周波音の測定方法に関するマニュアル」に準拠	—
廃棄物	種類、発生量 再生利用量、処分量	工事現場	時期：工事期間 頻度：1年間(年1回)	廃棄物の処理実績を集計	—
大気質 騒音・振動 人と自然との触れ合い の活動の場	工事用車両交通量	工事区域	時期：工事期間 頻度：2日/年 (最大工事時)	事業計画地の入口でカウントする	—

※ 水質及び地下水に係る調査の開始は、土地改変に係る工事の着手時

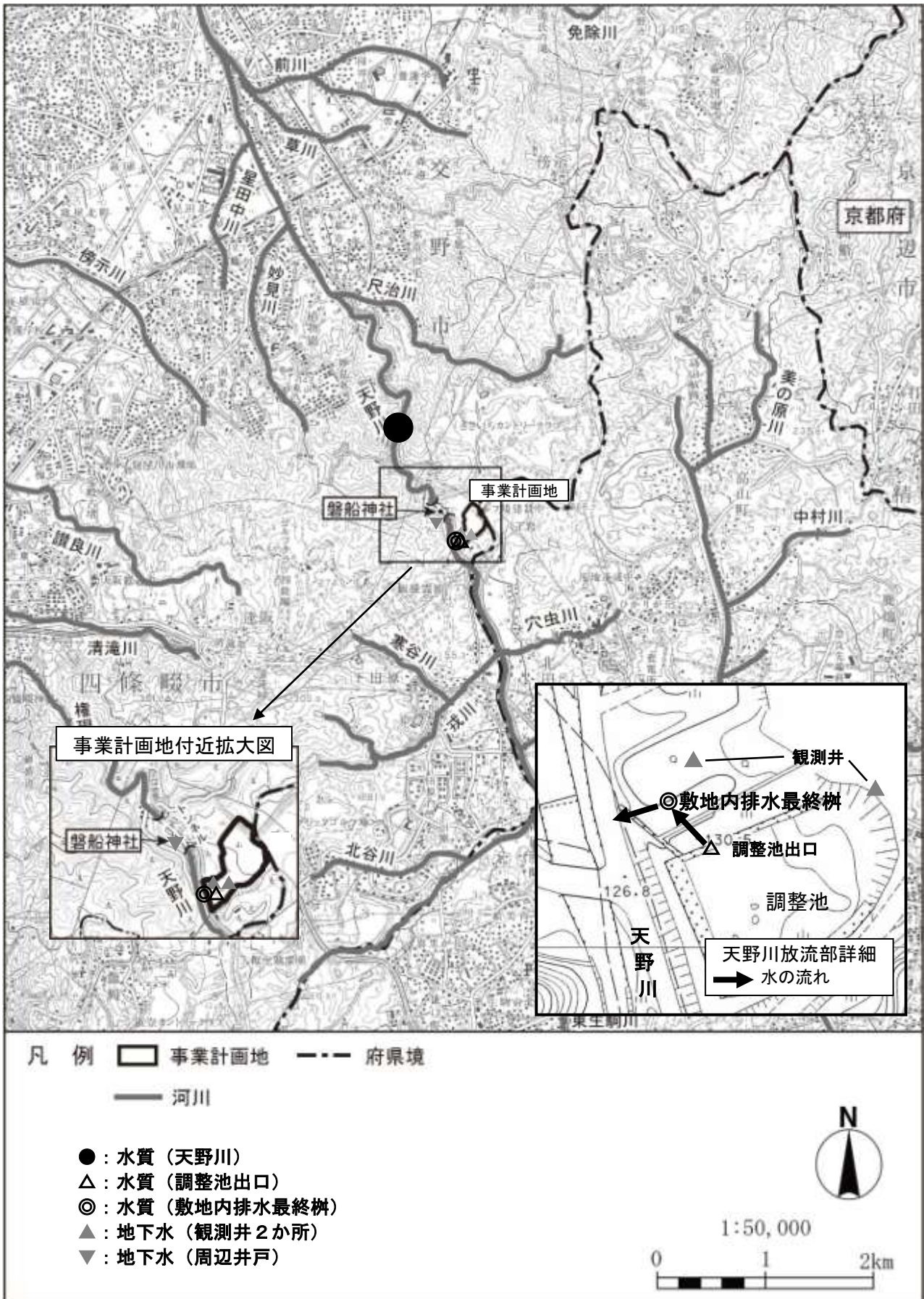


図1 調査地点 (水質、地下水)

6. 調査結果

(1) 水質

調整池出口、排水口（敷地内排水最終柵）及び河川（天野川下流）において、水質測定を実施した。

調整池出口については、調整池の貯留水が一定の水位となれば、貯留水を濁水処理装置にて処理後、pH、濁度の測定を実施し管理値を下回ることを確認してから放流した。

① 採水日

調整池出口	表3のとおり
排水口（敷地内排水最終柵）	平成27年6月22日
河川（天野川下流）	平成27年6月22日

② 測定結果

調整池出口の測定結果を表3に、排水口（敷地内排水最終柵）の測定結果を表4に、河川（天野川下流）の測定結果を表5にそれぞれ示す。

③ 結果の検証

- ・調整池出口の6月1日午後の測定値は、測定漏れのため測定値なしとした。
- ・調整池貯留水の放流にあたっては、濁度が管理値25以下であっても、濁水処理装置にて濁度をさらに低減したうえで、排水口（敷地内排水最終柵）から天野川への放流を実施していたが、6月22日に採水した排水口（敷地内排水最終柵）の試料から、ダイオキシン類1.8pg-TEQ/Lが検出された。

このため、天野川への放流を停止し、濁水処理装置に活性炭処理設備を増設し、ダイオキシン類濃度の低減対策を行ったうえで、天野川への放流を再開した。

- ・河川（天野川下流）の測定結果は、すべての項目が、水質管理目標を満足していた。

表3 測定結果（調整池出口）

地点	調査日	pH		濁度 (度)		SS (濁度換算値) (mg/L) 注1		濁水処理装置の稼働の状況				放流 の 有無
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	pH 注3		濁度 (度) 注3		
								最低値	最高値	最低値	最高値	
調整池 出口	1日	8.38	—	18.7	—	8	—	—	—	—	—	無
	2日	8.17	8.22	15.8	15.2	6	6	—	—	—	—	無
	3日	8.44	8.07	94.1	61.4	57	36	—	—	—	—	無
	4日	7.90	8.17	115	81.5	71	49	—	—	—	—	無
	5日	7.88	7.97	49.5	46.5	28	26	—	—	—	—	無
	6日	8.03	8.01	49.4	54.4	28	31	—	—	—	—	無
	7日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	8日	7.80	8.05	31.0	28.0	16	14	—	—	—	—	無
	9日	7.83	8.31	29.8	35.7	15	19	—	—	—	—	無
	10日	8.39	8.46	42.0	35.0	23	18	6.9	7.0	1	2	有
	11日	8.05	7.95	39.4	51.5	21	29	6.8	6.9	1	4	有
	12日	8.41	8.41	61.4	44.5	36	25	6.8	6.9	1	8	有
	13日	8.46	8.17	32.1	28.3	17	14	6.8	6.9	1	9	有
	14日	8.22	8.26	26.2	32.3	13	17	6.7	6.8	1	13	有
	15日	8.05	8.15	22.0	22.0	10	10	6.9	7.0	1	18	有
	16日	8.28	8.53	20.7	21.7	9	10	6.9	7.0	1	8	有
	17日	8.47	8.50	28.8	20.9	14	9	6.8	6.9	1	6	有
	18日	8.02	8.03	26.7	26.3	13	13	6.6	6.7	1	2	有
	19日	7.66	8.06	23.6	23.5	11	11	6.6	6.7	1	2	有
	20日	7.72	8.01	28.3	24.4	14	12	6.6	6.7	1	1	有
	21日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	22日	7.82	7.90	25.3	28.6	12	14	6.6	6.7	1	1	有
	23日	7.34	7.91	28.5	25.7	14	12	6.6	6.7	1	1	有
	24日	7.68	8.01	28.9	27.3	14	13	6.6	6.7	1	1	有
	25日	7.60	8.06	30.3	28.3	15	14	—	—	—	—	無
	26日	7.50	7.42	30.0	34.1	15	18	6.9	7.0	1	1	有
	27日	7.79	7.71	35.3	32.5	19	17	6.9	7.0	1	1	有
	28日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	29日	7.77	8.04	33.7	39.3	18	21	6.9	7.0	1	1	有
	30日	7.71	7.92	33.5	31.4	18	16	6.9	7.0	1	4	有
管理値		5.8~8.6		25以下注2		60以下						
測定回数		日2回（常時監視）										

注1：SS（濁度換算値）とは、濁度の値からSSを算出した値である。管理値の欄の60mg/Lは、工事中の濁水における管理目標である。

注2：濁度の管理値は、疑似試験結果から求める値で、事後調査結果に応じて適宜見直すものとする。

注3：当該数値は、濁水処理装置での処理後の測定値である。

表4 測定結果（排水口（敷地内排水最終柵））

区分	調査項目（単位）	敷地内排水最終柵								水質管理目標
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
現地調査 項目	調査日（－）	11月1日	12月3日	1月8日	2月4日	3月4日	4月4日	5月11日	6月22日	－
	調査時刻（－）	15:30	13:30	13:30	13:30	14:15	14:00	14:00	13:30	－
	色（－）	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	－
	外観（－）	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	－
	臭い（－）	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	－
	流量（m ³ /S）	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	－
	水温（℃）	19	7	6	6	13	15	18	27	－
透視度（度）	30	30	30	30	30	30	30	50以上	－	
生活環境 項目	pH（－）	8.1	8.2	8.0	7.8	8.1	7.6	8.2	7.7	5.8～8.6
	SS（mg/L）	－	2	－	3	－	4	－	1未満	60以下
健康項目	鉛（mg/L）	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01以下
	砒素（mg/L）	0.001未満	0.001	0.001	0.002	0.001未満	0.002	0.003	0.002	0.01以下
	ふっ素（mg/L）	0.37	0.39	0.37	0.27	0.37	0.12	0.36	0.22	0.8以下
	ほう素（mg/L）	0.29	0.24	0.20	0.14	0.30	0.05未満	0.06	0.05未満	1以下
	ベンゼン（mg/L）	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
その他	ダイオキシン類 （pg-TEQ/L）	－	0.086	－	0.039	－	0.067	－	1.8	1以下
	濁度（度）	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	3	1未満	－
	電気伝導率（mS/m）	69.7	60.9	53.5	53.8	62.5	40.9	48.1	36.4	－

表5 測定結果（河川（天野川下流））

区分	調査項目（単位）	天野川下流								水質管理目標
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
現地調査項目	調査日（－）	11月1日	12月3日	1月8日	2月4日	3月4日	4月4日	5月11日	6月22日	－
	調査時刻（－）	15:00	13:00	13:00	13:00	14:00	13:30	13:30	10:00	－
	色（－）	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	－
	外観（－）	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	－
	臭い（－）	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	－
	流量（m ³ /S）	5.6	5.6	5.6	5.6	0.45	0.45	0.45	0.31	－
	水温（℃）	18	8	6	6	13	15	18	23	－
	透視度（度）	30	30	30	30	30	30	30	50以上	－
生活環境項目	pH（－）	8.0	8.0	7.9	8.0	7.8	8.0	8.0	8.0	6.5～8.5
	SS（mg/L）	－	5	－	3	－	6	－	5	25以下
健康項目	鉛（mg/L）	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01以下
	砒素（mg/L）	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
	ふっ素（mg/L）	0.08未満	0.11	0.14	0.12	0.10	0.08未満	0.13	0.20	0.8以下
	ほう素（mg/L）	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	1以下
	ベンゼン（mg/L）	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
その他	ダイオキシン類（pg-TEQ/L）	－	0.19	－	0.10	－	0.22	－	0.36	1以下
	濁度（度）	1	2	2	2	2	2	2	4	－
	電気伝導率（mS/m）	24.8	23.0	23.3	24.8	21.5	19.3	25.2	20.7	－

(2) 地下水

観測井及び周辺井戸において、水質測定を実施した。なお、観測井（東側）については、旧観測井の水量が少なく採水ができなかったことから、旧観測井の近傍に新観測井を掘削し、測定を実施した。新観測井の位置を図2に示す。

① 採水日

観測井 平成27年6月23日

周辺井戸 平成27年6月23日

② 測定結果

観測井と周辺井戸の測定結果を表6に示す。

③ 結果の検証

観測井（東側）及び周辺井戸の測定結果は、すべての項目が環境基準を満足していた。また、観測井（西側）の測定結果において、ふっ素が環境基準値（ 0.8 mg/L ）に対し、 1.3 mg/L と上回っていた。事業計画地内に存在している宙水が周辺に影響を及ぼしてはいないものの、今後の建設工事による影響を含め、観測井、周辺井戸及び河川において、経過観察をしていく。

なお、観測井（西側）のその他の測定結果は環境基準値を満足していた。

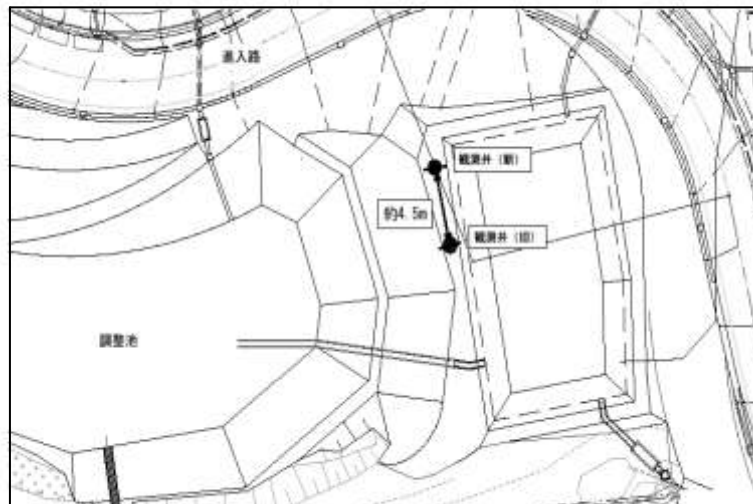


図2 観測井（東側）位置図

表6 測定結果（観測井と周辺井戸）

区分	調査項目（単位）	観測井と周辺井戸									環境基準値
		12月			3月			6月			
		観測井（西）	観測井（東）	周辺井戸	観測井（西）	観測井（東）	周辺井戸	観測井（西）	観測井（東）	周辺井戸	
現地調査項目	調査日（－）	12月3日	12月3日	12月3日	3月4日	－	3月4日	6月23日	6月23日	6月23日	－
	調査時刻（－）	14:00	14:30	15:00	14:30	－	13:30	15:30	14:30	13:00	－
	色（－）	透明	透明	透明	透明	－	透明	透明	透明	透明	－
	外観（－）	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	－	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	浮遊物なし	－
	臭い（－）	無臭	無臭	無臭	無臭	－	無臭	無臭	無臭	無臭	－
	水位（管頭から）（m）	2.95	5.1	5.1	2.95	－	5.1	2.8	5.1	5.1	－
	水温（℃）	8	7	7	13	－	13	16	16	14	－
	透視度（度）	30	30	30	30	－	30	50以上	42	50以上	－
健康項目	鉛（mg/L）	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	－	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01以下
	砒素（mg/L）	0.001未満	0.002	0.001未満	0.002	－	0.001未満	0.002	0.001未満	0.001未満	0.01以下
	ふっ素（mg/L）	0.34	0.37	0.09	0.46	－	0.10	1.3	0.41	0.14	0.8以下
	ほう素（mg/L）	0.28	0.08	0.05未満	0.20	－	0.05未満	0.16	0.22	0.05未満	1以下
	ベンゼン（mg/L）	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	－	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
その他	ダイオキシン類 （pg-TEQ/L）	0.030	0.35	0.054	0.095	－	0.076	0.12	0.017	0.018	1以下